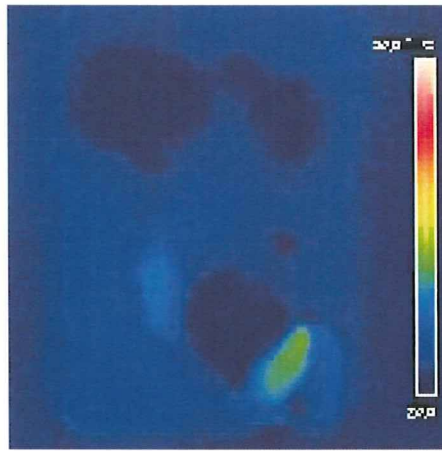
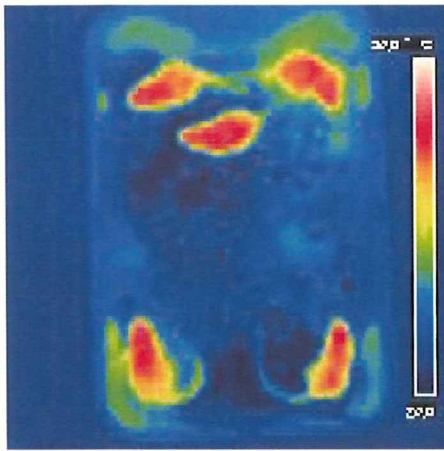
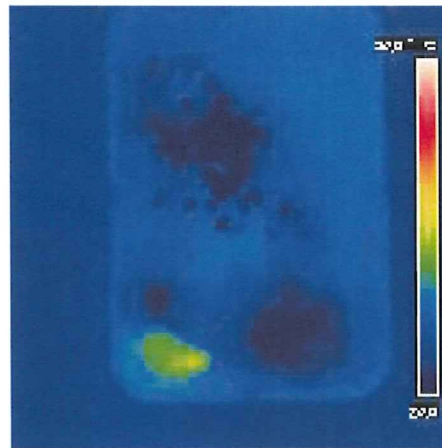
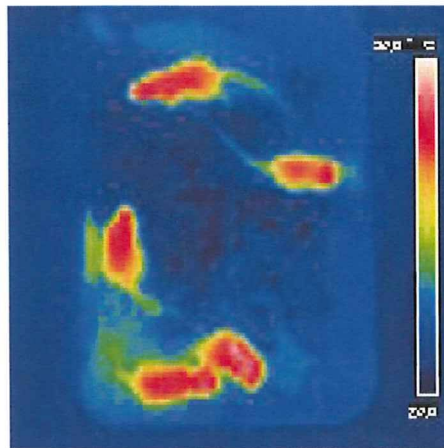


9h



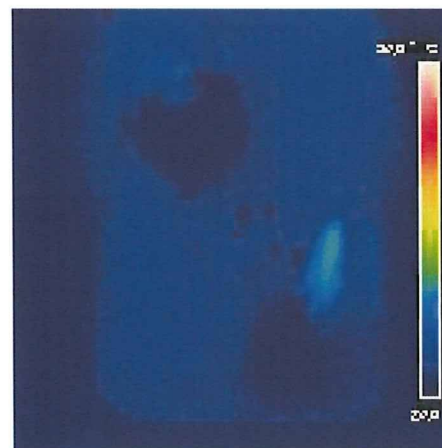
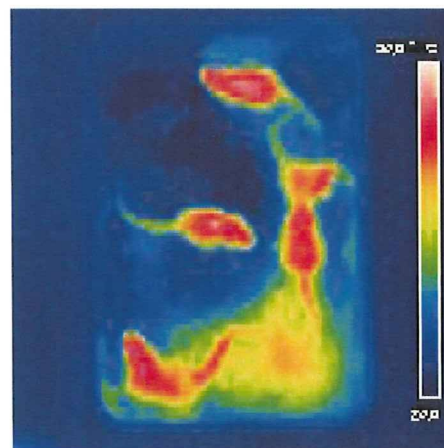
1 匹死、残 1 匹

10h



残 1 匹

24h

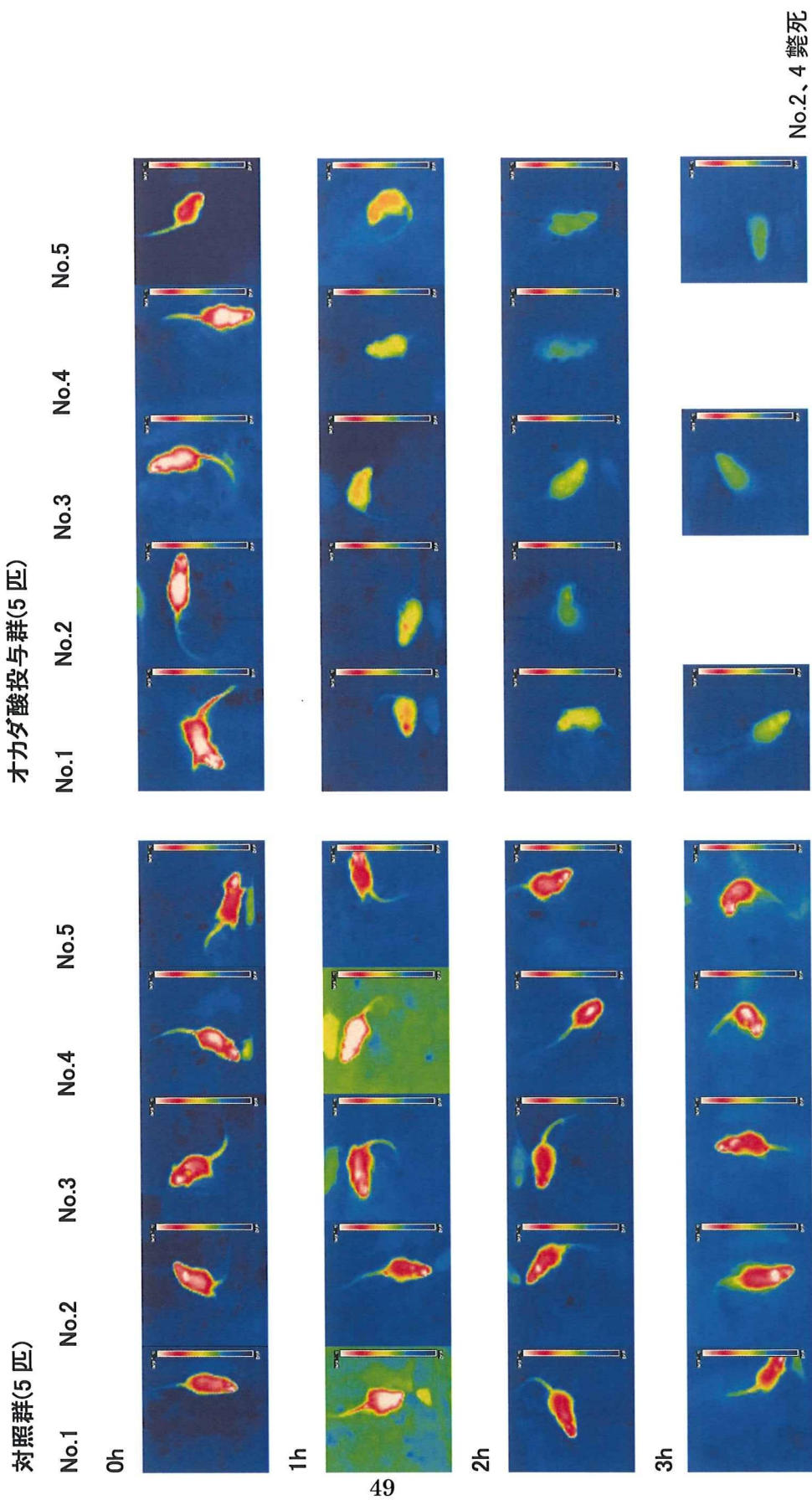


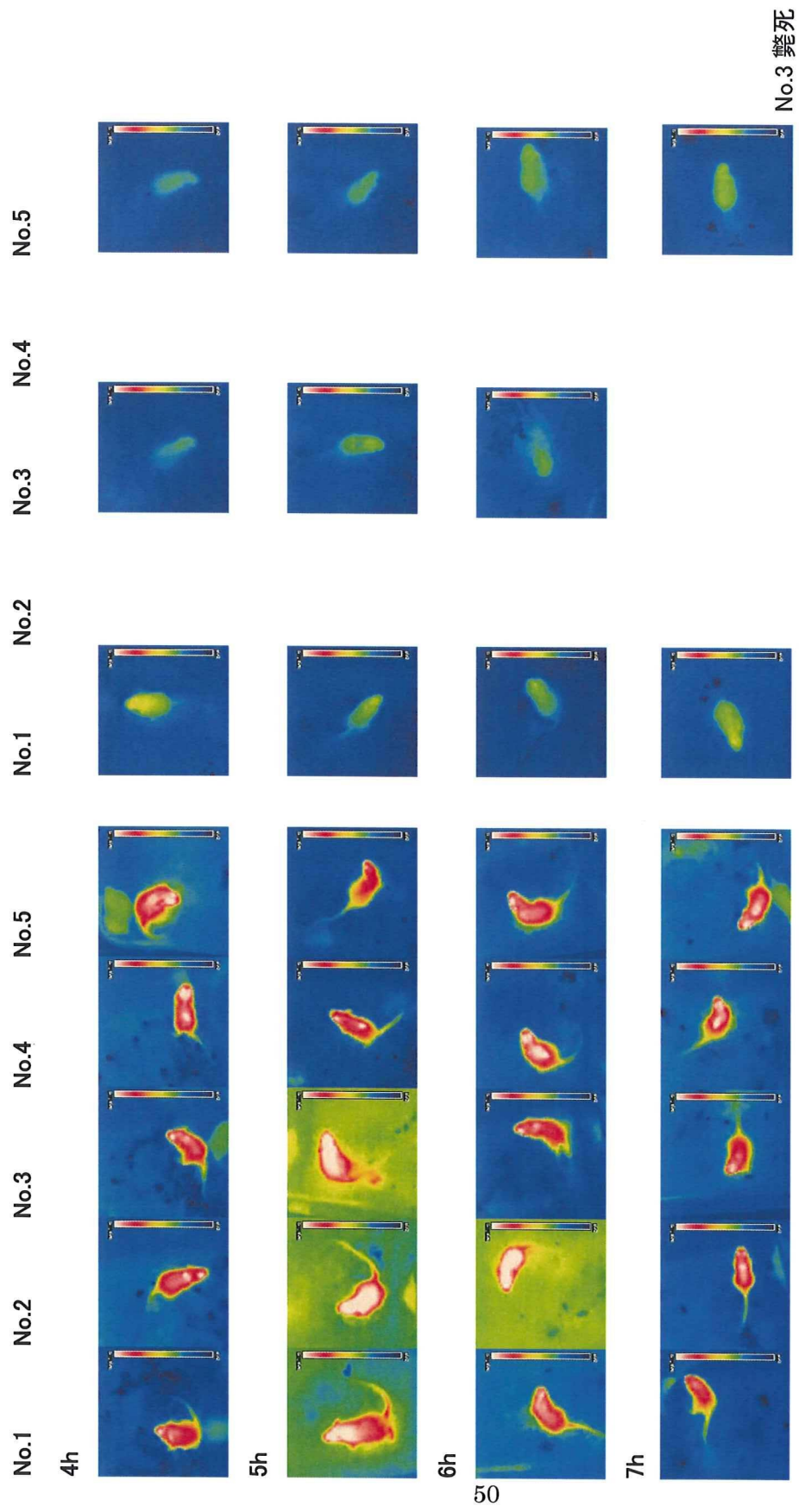
残 1 匹

オカダ酸投与群では、体表温の低下が投与 1 時間後から著明である。

投与 24 時間後に生存していたマウスは 1 匹であった。このマウスも 48 時間後には斃死しているのが確認された。

図2 サーモグラフィーによる、オカダ酸投与後のマウスの体温変化 (個体)





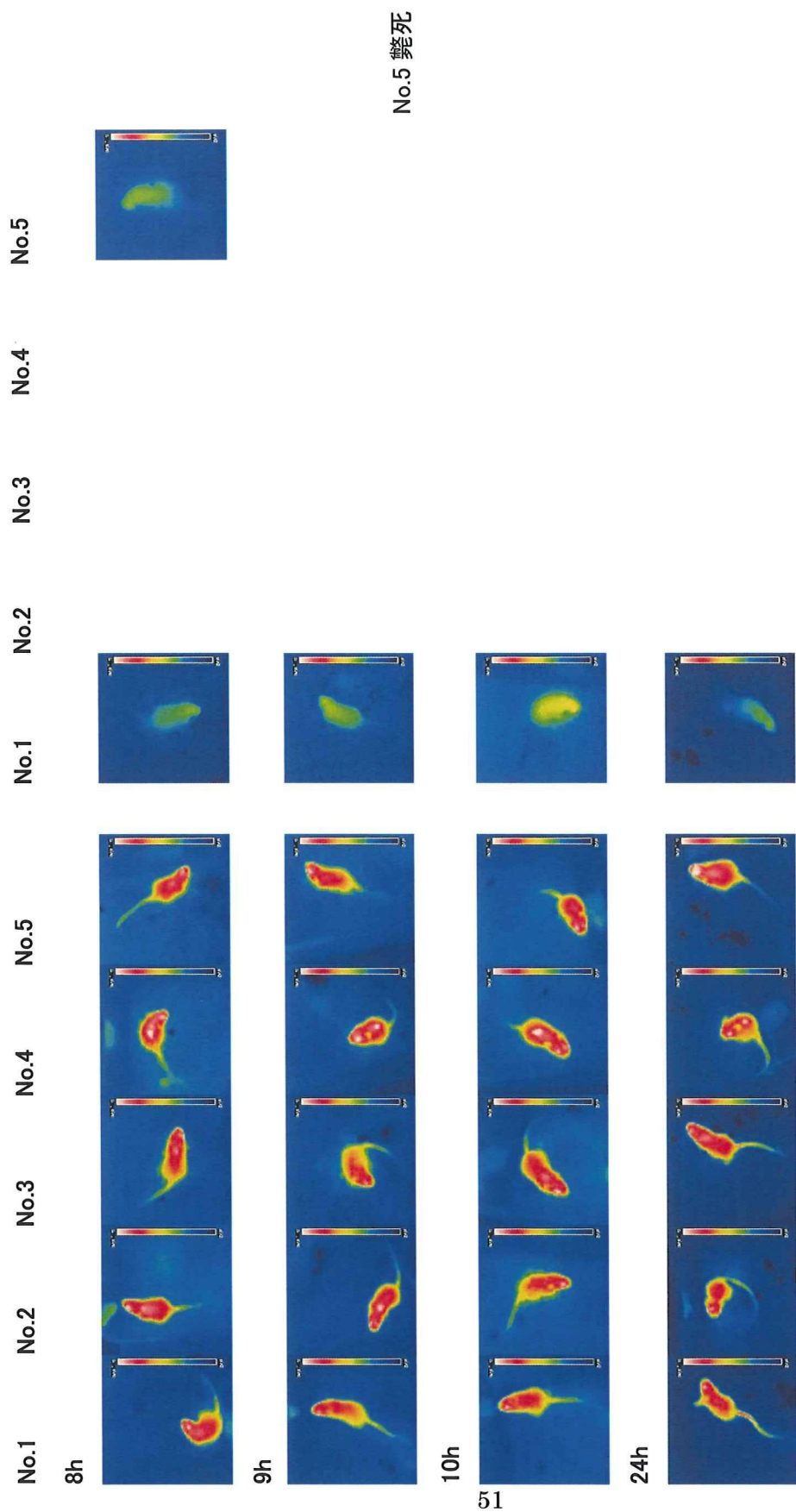
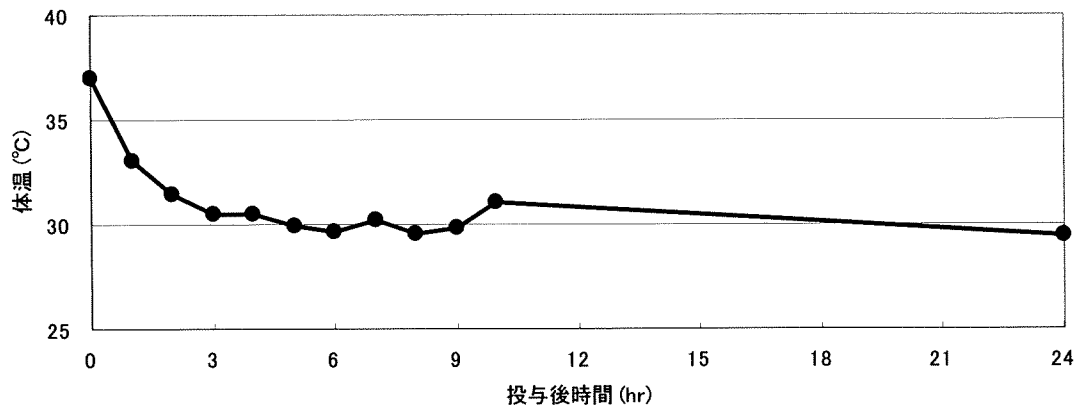
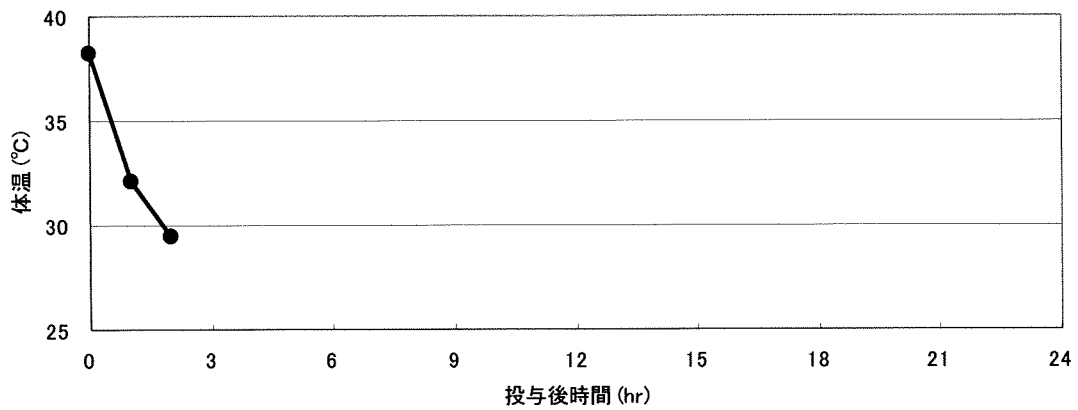


図3 サーモグラフィーによる、オカダ酸投与後のマウスの体温変化（体表の最高温度）

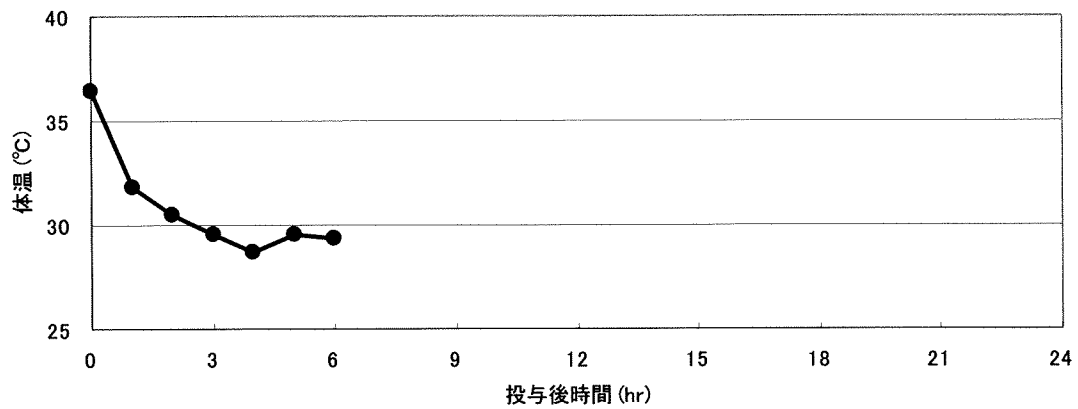
OA投与マウスNo.1



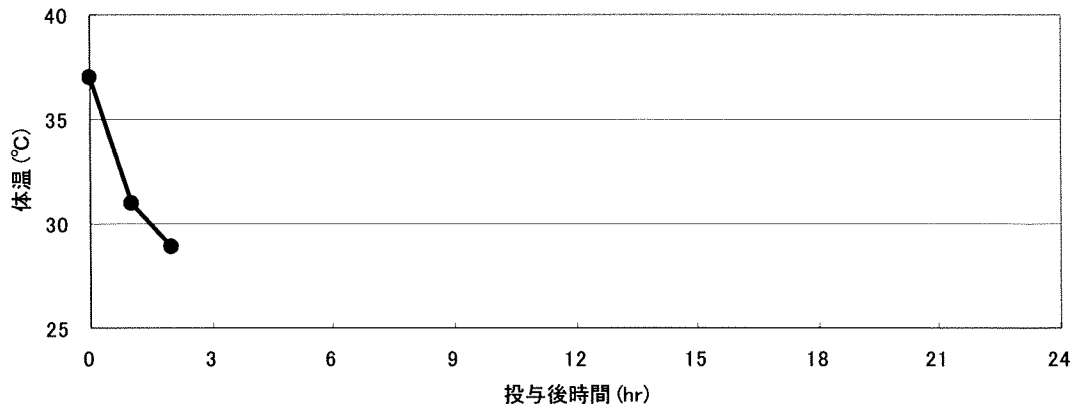
OA投与マウスNo.2



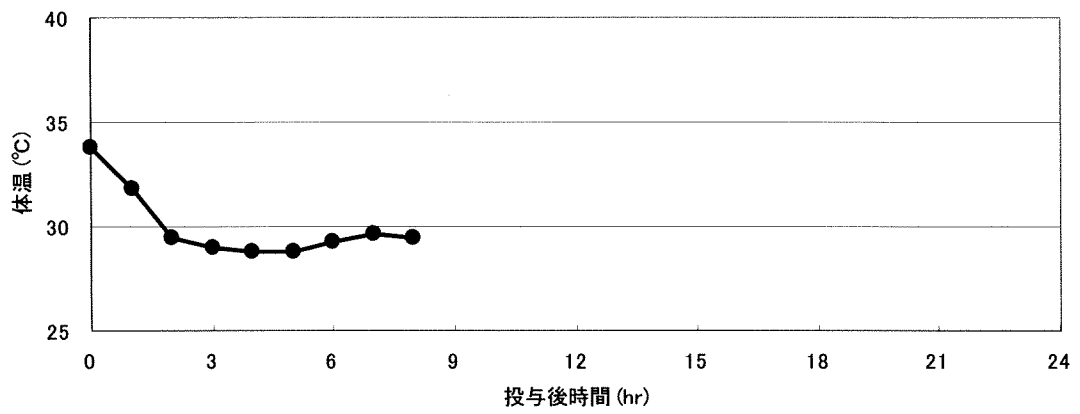
OA投与マウスNo.3



OA投与マウスNo.4

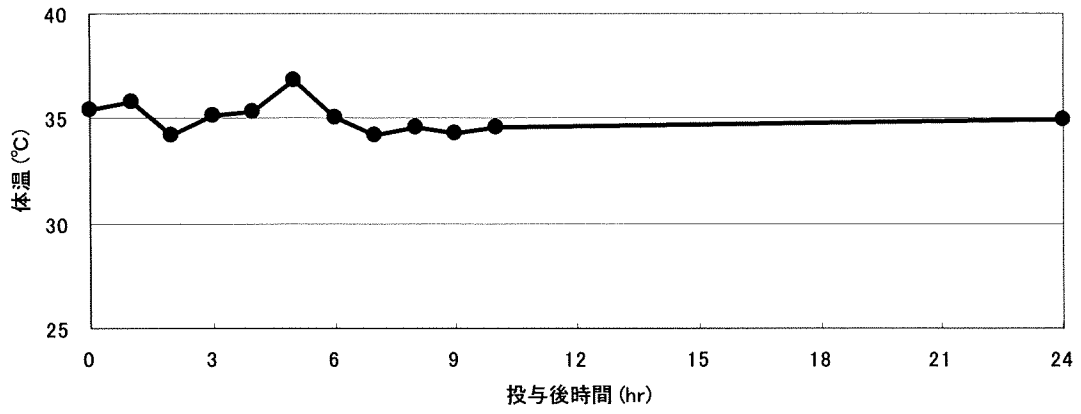


OA投与マウスNo.5

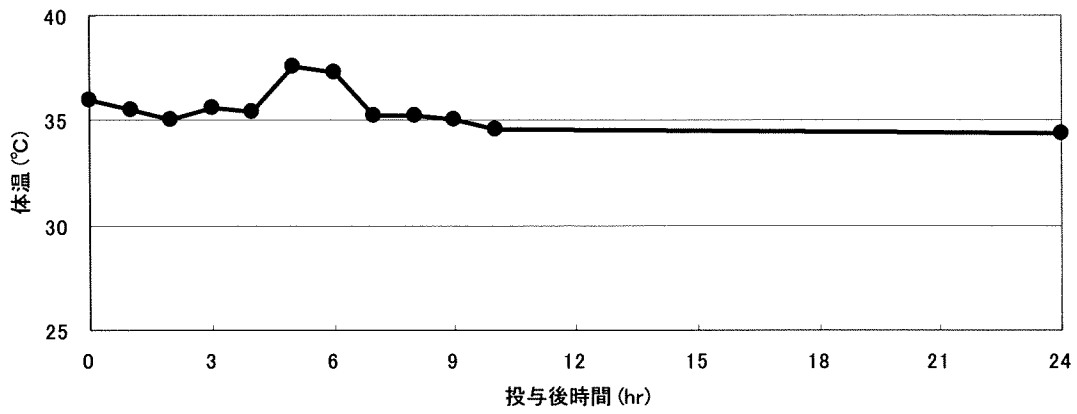


No.2、3、4、5 は斃死した。No.1 は投与 24 時間後まで生存していた。

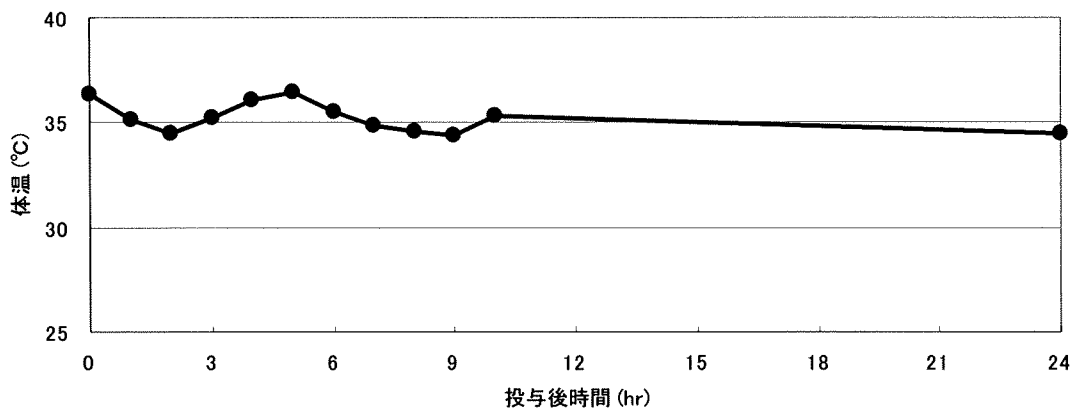
対照マウスNo.1



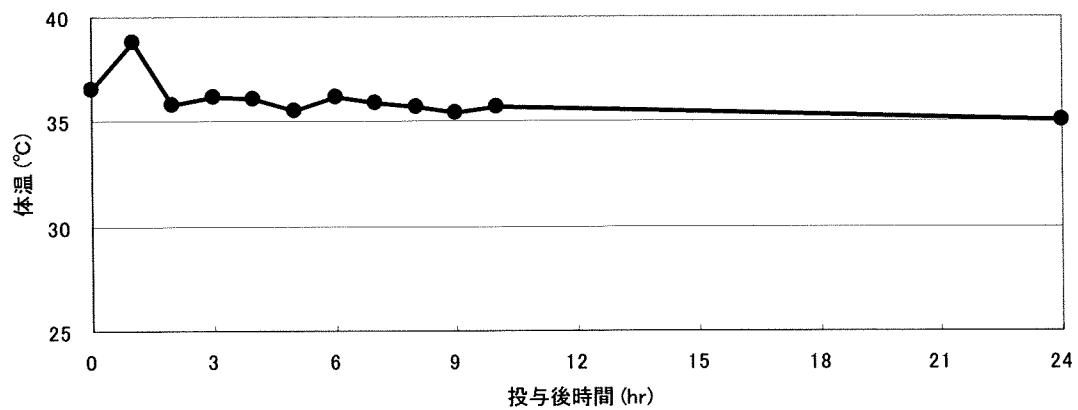
対照マウスNo.2



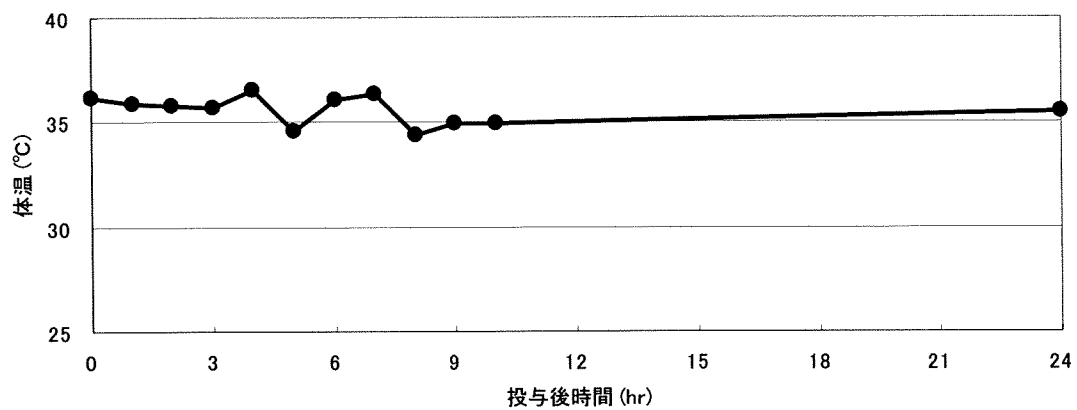
対照マウスNo.3



対照マウスNo.4



対照マウスNo.5



ばらつきはあるが、34°Cを下回ることにはなかった。



